



福岡県警察からのお願い

令和6年2月号

許すな！内部不正

福岡県警察は、令和6年1月、パソコン関連商品販売店の元社員らを、不正アクセス禁止法違反等で**逮捕**しました。元社員らは、販売店の社員に成りすまして社内の共有アカウントを使って不正アクセスし、ソフトウェアの利用権を転売するなどして詐取したものです。

内部不正を防止するための対策例

- **退職した従業員のアカウント**は必要ですか？
 - 退職者のアカウントは、不要になった時点で削除しましょう。
- 社内サーバのアクセス権は、**必要な従業員**にのみ付与されていますか？
 - 必要の原則に基づき、アクセス権の見直しを検討しましょう。
- 社外で取扱可能な情報を限定し、**重要情報や情報機器を保護**していますか？
 - 重要情報を無断で持ち出されないよう、適正に管理しましょう。
- 社内サーバに対する**外部からの不正アクセス**はありませんか？
 - 定期的にアクセスログを調査・点検するなどして、被害を最小限に抑えましょう。

内部不正を生み出す
3つの要因

不正のトライアングル

動機・プレッシャー

処遇への不満やプレッシャー、業務量、ノルマなど、不正行為に至るきっかけ
(例) ・ 人事に不満
・ 金銭問題を抱えている
・ 高いノルマを課されている など

※ 独立行政法人 情報処理推進機構
IPA NEWS Vol. 64 (2023年12月号)
(<https://www.ipa.go.jp/about/ipanews/ipanews202312.html>) を
基に作成

機会

IT技術や物理的な環境、組織ルールの不備など、不正行為を可能または容易にする環境
(例) ・ 広いシステム管理権限
・ **持ち出し可能な環境**
・ 同じ業務を長期間担当 など

正当化

都合のよい解釈や他人への責任転嫁など、自分勝手な理由づけや倫理観の欠如
(例) ・ 正当に評価がされていない
・ サービス残業
・ 会社へのうらみ など

その他、内部不正を防止するための対策については、独立行政法人 情報処理推進機構「組織における内部不正防止ガイドライン」をご参照ください。

URL : <https://www.ipa.go.jp/security/guide/insider.html>

◆ 福岡県警察本部サイバー犯罪対策課では、最新のサイバー犯罪の手口や対策などを、X (旧Twitter) やHPに掲載していますので、ぜひご覧ください。

◆ 万一、被害に遭われた場合は、管轄警察署宛てご一報ください。

[X]



[HP]

